

## 令和7年度 地域における農村文化の伝承事業を実施しました

○実施日 令和8年1月27日（火）

○場 所 ふるさと体験木曾おもちゃ美術館（木曾町新開）

○内 容

地域における農村文化の伝承事業を木曾農業農村支援センター主催、長野県農村生活マイスター木曾支部共催で実施し、木曾地区の女性農業者や食育関係、自治体職員の方など30名が集まりました。

高齢化や生活様式の変化とともに地域の行事や食文化のノウハウが失われつつあります。木曾地域の暮らしや食の農村文化を伝承するための講演会・事例発表、調理実習を行いました。

講演会は「木曾地域の農村文化を伝承するために」と題して<sup>むしんいち</sup>夢人市・笹っこ代表の野口廣子さんに木曾町新開地区の農業を盛り上げ、食育活動を通して多くの方に木曾の伝統食を伝える活動についてお話していただきました。

農村生活マイスターの事例発表は、ふるさと体験木曾おもちゃ美術館チーフディレクター塩澤郷子さんにお米など自分で育てた農作物を使った伝統食を作り、食育として伝統食を広める新開地区黒川での活動について発表していただきました。

調理実習の笹巻き（ちまき）は朴葉まきと並び木曾で端午の節句のお供え、農作業の「おこびる」として親しまれてきました。米粉をこねて団子を作り笹で巻き、蒸します。出来上がった笹巻きの試食をしながら参加者の交流を深めました。



写真1：講演会



写真2：笹巻き（ちまき）作り